



2016年12月期 第1四半期 決算説明資料

2016年 5月 12日
富士ソフト 株式会社



目次

2016年12月期第1四半期 決算

- P2. 連結業績ハイライト
- P3. 主なグループ会社売上高・営業利益
- P4. 連結セグメント別売上高・営業利益
- P5. 連結損益計算書
- P6. 連結貸借対照表
- P7. 連結キャッシュ・フロー計算書
- P8. 連結S I事業の受注高・受注残高

● 連結業績ハイライト

売上高はシステム構築分野の好調により増収

◇売上高は、機械制御系をはじめとしてシステム構築分野が好調に推移し、前年同期比105.4%の41,261百万円となりました。

営業利益は増収や原価率の改善により増益

◇営業利益は、増収や不採算案件の減少による原価率の改善により、前年同期比106.7%の2,261百万円となりました。

◇経常利益は、持分法投資利益の減少により、前年同期比96.7%の2,228百万円となりました。

◇親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比110.1%の1,179百万円となりました。

(単位:百万円)

	2015年12月期	2016年12月期	前同差	前同比	2016年12月期	
	1Q実績	1Q実績			1Q計画	計画比
売上高	39,133	41,261	+2,128	105.4%	39,750	103.8%
営業利益	2,119	2,261	+142	106.7%	1,810	125.0%
営業利益率	5.4%	5.5%			4.6%	
経常利益	2,303	2,228	△75	96.7%	1,860	119.8%
経常利益率	5.9%	5.4%			4.7%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,070	1,179	+108	110.1%	1,260	93.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	2.7%	2.9%			3.2%	



● 主なグループ会社売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2016年 12月期	売上高	営業利益	
富士ソフト	1Q実績	25,122	1,533	売上高は、機械制御系や金融業向けなどが好調に推移し、増収となりました。営業利益は、技術者の採用増、ライセンス販売の増加による原価率の上昇や、先行投資による販管費の増加があったものの、増収効果によりほぼ前年並みとなりました。
	前同差	+2,015	△ 36	
	前同比	108.7%	97.6%	
サイバネットシステム	1Q実績	4,036	318	売上高は、主力のMCAE(メカニカルCAE)やITソリューション売上が好調に推移したこと、北米子会社において大型のOEM契約案件を受注したことにより、増収となりました。営業利益は、採用強化により人件費が増加したものの、増収により増益となりました。
	前同差	+435	+226	
	前同比	112.1%	347.0%	
サイバーコム	1Q実績	2,429	47	売上高は、制御系ソフトウェア開発や業務系ソフトウェア開発が好調に推移し増収となりました。営業利益は、採用や技術者教育の強化などの先行投資が増加したため、前年を下回りました。
	前同差	+235	△ 10	
	前同比	110.7%	81.9%	
ヴィンクス	1Q実績	7,038	307	売上高は、新規取引の拡大を進めているものの、主要顧客のIT投資の一部見直しによる減少を補えず、減収となりました。営業利益は、減収や採用強化に伴う販管費の増加により、減益となりました。
	前同差	△ 546	△ 141	
	前同比	92.8%	68.4%	
富士ソフト サービスビューロ	1Q実績	2,110	76	売上高は、コールセンターサービスにおいて官公庁向け案件が堅調に推移し、増収となりました。営業利益は、上場関連費用や内部統制強化のための経費増加があったものの、原価低減や上記以外の経費削減に取り組み増益となりました。
	前同差	+42	+45	
	前同比	102.1%	247.4%	

※サイバーコム、ヴィンクス、富士ソフトサービスビューロは3月決算であり、「2016年12月期1Q実績」欄に2016年1～3月の実績を記載しています。

連結セグメント別売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2016年12月期売上高		前同差	前同比	2016年12月期営業利益		前同差	前同比
	1Q実績	構成比			1Q実績	営業利益率		
全社計	41,261	100.0%	+2,128	105.4%	2,261	5.5%	+142	106.7%
SI事業	38,301	92.8%	+1,981	105.5%	2,033	5.3%	+107	105.6%
システム構築	22,525	54.6%	+752	103.5%				
組込系／制御系ソフトウェア	11,587	28.1%	+1,355	113.2%				
業務系ソフトウェア	10,938	26.5%	△ 603	94.8%				
プロダクト・サービス	15,775	38.2%	+1,229	108.5%				
プロダクト・サービス	11,517	27.9%	+1,602	116.2%				
アウトソーシング	4,257	10.3%	△ 372	91.9%				
ファシリティ事業	702	1.7%	+130	122.8%	170	24.3%	+31	123.0%
その他事業	2,257	5.5%	+16	100.7%	56	2.5%	+2	105.2%

セグメント別売上高のポイント

●組込系／制御系ソフトウェア

自動車関連・FAなどの機械制御系、航空・宇宙分野や電力などが好調に推移したことにより、モバイルや通信制御の減少を補い、前年同期比113.2%と増収になりました。

●業務系ソフトウェア

金融業向けが好調だったものの、流通業向けなどの減少により、前年同期比94.8%と減収になりました。

●プロダクト・サービス

ライセンスビジネスの好調やCAE製品の大型案件により、前年同期比116.2%と増収となりました。

●アウトソーシング

流通業向け取引の減少などにより、前年同期比91.9%と減収になりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	2015年12月期	2016年12月期	前同差	前同比	2016年12月期	
	1Q実績	1Q実績			1Q計画	計画比
売上高	39,133	41,261	+2,128	105.4%	39,750	103.8%
売上原価	30,223	31,775	+1,552	105.1%	-	-
売上原価率	77.2%	77.0%	△ 0.2 ①			
売上総利益	8,909	9,485	+575	106.5%	-	-
売上総利益率	22.8%	23.0%	+ 0.2			
販売費及び一般管理費	6,790	7,223	+433 ②	106.4%	-	-
販管費率	17.4%	17.5%	+ 0.2			
営業利益	2,119	2,261	+142	106.7%	1,810	125.0%
営業利益率	5.4%	5.5%	+ 0.1		4.6%	
営業外収益	123	52	△ 70	42.9%	-	-
営業外費用	53	103	+49	193.0%	-	-
持分法による投資損益	113	17	△ 96 ③	14.9%	-	-
経常利益	2,303	2,228	△ 75	96.7%	1,860	119.8%
経常利益率	5.9%	5.4%	△ 0.5		4.7%	
特別利益	-	-	-	-	-	-
特別損失	369	132	△ 237 ④	35.7%	-	-
税金等調整前四半期純利益	1,933	2,096	+162	108.4%	-	-
法人税等合計	768	798	+29	103.8%	-	-
四半期純利益	1,165	1,297	+132	111.4%	-	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	94	118	+24	125.7%	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,070	1,179	+108	110.1%	1,260	93.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	2.7%	2.9%	+ 0.1		3.2%	

損益計算書のポイント

① 売上原価率 (△0.2%)

子会社における不採算案件の減少や、高付加価値案件受注などによる改善

② 販売費及び一般管理費 (+433百万円)

人員体制の整備などの先行投資の増加

③ 持分法による投資損益 (△96百万円)

エース証券に関する持分法投資利益の減少

④ 特別損失 (△237百万円)

子会社で投資有価証券売却損や、のれん減損損失があったものの、前期に係会社株式売却損を計上したため減少



連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2015年12月期 期末	2016年12月期 1Q期末	前期末差
流動資産	55,032	63,475	8,442
現金及び預金	12,784	17,617	4,833 ①
受取手形及び売掛金	31,485	35,020	3,534 ②
有価証券	3,800	4,100	299
たな卸資産	2,326	1,915	△ 410
繰延税金資産	1,953	2,703	749
その他	2,683	2,118	△ 565
固定資産	98,800	97,498	△ 1,301
有形固定資産	67,013	66,877	△ 136
無形固定資産	6,273	5,986	△ 287
投資その他の資産	25,513	24,635	△ 878
資産合計	153,833	160,973	7,140
流動負債	27,556	33,384	5,828
買掛金	7,625	9,733	2,107
短期借入金	3,967	5,575	1,607 ①
コマーシャル・ペーパー	0	1,000	1,000 ①
未払費用・賞与引当金	5,820	7,884	2,064
未払法人税等	1,210	1,593	382
工事損失引当金	107	58	△ 48
その他	8,825	7,539	△ 1,285 ③
固定負債	22,197	22,424	226
長期借入金	11,242	11,944	701 ①
その他	10,955	10,479	△ 475
負債合計	49,754	55,809	6,054
純資産合計	104,078	105,164	1,085
負債純資産合計	153,833	160,973	7,140

貸借対照表のポイント

- ① 現金及び預金 (+4,833百万円)
短期借入金 (+1,607百万円)
コマーシャル・ペーパー (+1,000百万円)
長期借入金 (+701百万円)

資金調達に関する季節要因

- ② 受取手形及び売掛金 (+3,534百万円)

S I 事業の増収による増加

- ③ その他の流動負債 (△1,285百万円)

未払消費税の納付による減少

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2015年12月期 1Q実績	2016年12月期 1Q実績	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	784	2,303	+1,519
投資活動によるキャッシュ・フロー	1	△ 553	△ 553
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 695	3,667	+4,362
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△ 84	
現金及び現金同等物の増減額	100	5,333	
現金及び現金同等物の期首残高	16,135	15,688	
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,236	21,021	

キャッシュ・フローのポイント

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
2,303百万円の収入となりました。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
自社製品（ソフトウェア）や設備投資等の支出があったこと、有価証券の償還があったことなどにより、553百万円の支出となりました。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
借入（設備投資など）があったこと、子会社株式を売却したことなどにより、3,667百万円の収入となりました。

連結 S I 事業の受注高・受注残高

(単位:百万円)

	2016年12月期 1Q実績						
	期首受注残高	受注高	前同比	売上高	前同比	期末受注残高	前同比
SI事業 合計	30,688	38,744	103.8%	38,301	105.5%	31,131	104.7%
システム構築	20,683	21,915	106.3%	22,525	103.5%	20,074	109.1%
組込系/制御系ソフトウェア	8,987	11,817	118.6%	11,587	113.2%	9,217	114.8%
業務系ソフトウェア	11,695	10,098	94.7%	10,938	94.8%	10,856	104.7%
プロダクト・サービス	10,005	16,828	100.8%	15,775	108.5%	11,057	97.5%
プロダクト・サービス	7,843	12,448	102.8%	11,517	116.2%	8,773	100.9%
アウトソーシング	2,161	4,380	95.5%	4,257	91.9%	2,284	86.2%

受注高・受注残高のポイント

●受注高のポイント

- ・システム構築分野
組込系/制御系ソフトウェアにおいて、自動車やFAなど機械制御系が好調に推移し、流通業・製造業向けのソフトウェアの減少を補い増加しました。
- ・プロダクト・サービス分野
アウトソーシングで減少したものの、ライセンスビジネスやMCAE分野の好調により、微増となりました。

●受注残高のポイント

- ・システム構築分野
期首受注残高が高水準にあったこと、受注高も機械制御系や金融業向けが好調に推移したことなどにより、期末受注残高は前年同期比109.1%となりました。
- ・プロダクト・サービス分野
プロダクト・サービスは前期並みとなったものの、アウトソーシングの減少により、期末受注残高は前年同期比97.5%と減少しました。



BYOD推進企業



※ 本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性があります。

また、資料配布の目的が、当社株式の保有継続および追加購入を推奨するものではないことも、併せてご理解いただきますようお願い申し上げます。